

1. 幼稚園(まどか幼稚園)の教育目標

・じょうぶな体	明るく、すこやかな心身を育む
・やさしい心	友だちとの協調性を育む
・がんばる力	意欲と豊かな想像性を育む
・興味をもつこと	いろいろなことに興味や関心をもつ子どもになる

2. 令和2年度 事業計画の重点目標

1 遊びを楽しみ、園児が主体的に活動できる環境作りをする
2 自分の思いや考えを持ち、それを表し、行動できるようになる

3. 評価項目の達成及び取り組みの状況

(A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、十分ではない C:取り組みが不十分)

	評価項目	結果	内容等	関係者評価
1	保育の計画性、重点目標	B	感染防止の休園など見通しが立たない中、休園・再開の状況で取り組める保育内容を並行して計画の検討をした	A
2	保育の在り方、 幼児への対応	A	長期休暇や行動の制限により受けた子どものメンタルケアを行いながら、一人ひとりの様子を見て対応した	A
3	保育者としての 資質や能力	B	オンライン保育や教材準備など、これまでの保育の経験や知識と使って新たな取り組みを行った。しかし、すべての園児が満足する内容には足りず課題もあった	A
4	保護者への対応	A	アプリを使った連絡によりスムーズに行えた。また時間の確保を行い、直接話や相談に対応できるようにした	A
5	地域の自然や 社会とのかかわり	B	屋外保育を多く行ったが、園外保育は今の状況では難しい。コロナウイルスが落ち着いたら、地域との関わりを深める活動を増やしたい	B
6	自己研修など	B	初めて経験するウイルス対策にもかかわらず、新たな取り組みのための自己研修を行ったが、中止の研修も多く例年に比べて少なかった	B

4. 重点課題等の総合的な評価結果

- ・ 主体性のある環境とコロナウイルス感染拡大防止の対策を両立するために、全教職員で話し合いをしながら、保育計画・実行していった
- ・ 子どもが自ら発言する機会を日常的に多く取り入れ、年度後半には自信を持って発言する姿(年長児)が見られた

5. 今後取り組む課題等

行事、計画について

- ・ コロナウイルス感染拡大防止対策と保育について、計画を再検討する
- ・ 感染状況により柔軟に対応できるよう計画をする

研修、自己啓発について

- ・ オンライン研修を積極的に行い、教職員間で共有する

6. 学校評価委員からのコメント

- ・ コロナウイルスにより生活環境が変わる中、子どものことを考え、保育を計画していることがわかった
- ・ 行事の変更や縮小があったものの、子どもも保護者も楽しめた
- ・ 休園期間中も、預かり保育やYouTube動画を発信して、ありがたかった
- ・ 保育後の消毒など負担が増えたと思うが、地域で助け合っていきたい